

# 東地協ニュース 2004. 初秋 第4号



## HPの効果的利用に向けて



東京大学 生産技術研究所 研究員  
東京工業大学 都市地震工学センター 特別研究員

若松 加寿江 (協会理事)

前号の金道副会長の巻頭言の続編ともいえるべき話題となりますが、本協会および会員企業の活性化を図るために、ホームページ(HP)を効果的に利用する方策をいくつか提案させて頂きたいと思えます。

HPを効果的に利用するには、その特長を踏まえて作戦を練ることが大切である。

その1. HPは世界に向けて24時間フル発信する広告塔である - 組織や企業の規模、地理的な所在地、時間を問わず、実力勝負の世界である。HPは単なるweb上の窓口ではない。その重要性を再認識しよう。

その2. キーワード検索機能を逆に利用しよう。ユーザーの大部分は、キーワード検索で必要な情報を捜し当てる。社会的ニーズに合った「キーワード」を含む文章をHPに掲載することにより、多くの訪問者を呼び込むことができる。例えば、「地質調査」とか「土質調査」という言葉は専門家向けであるが、「宅地のトラブル」、「土地の安全」などの言葉を盛り込むことにより、一般の顧客を集めることができる。

その3. ユーザーは「お気に入り」を持っている。お気に入りとは、気に入ったHPのアドレスを自分のコンピュータに登録すること、つまり殿方流に言えば、行きつけの飲み屋に「今日は何か美味しいつまみはある?」という感覚で訪れる常連さんになることである。常連を増やすためには、新しく、耳よりの情報を、わかりやすく、感じ良く掲載することが必要だ。まず、トップページに入ったとき、「ようこそ」というホスピタリティが感じられることが大切である。次に、各ページのメニュー(案内板)がわかりやすいか? 訪問者の興味を誘うような言葉で書かれているか? HPの中は、ページが枝分かれし層構造になっていて複雑である。中をじっくり見学してもらうためには、内容もさることながら、メニューやHP全体の構造の明快さが重要である。

企業や団体のHPで好感度が高くわかりやすいHPというのは、実際には意外に少ない。その理由は多くがHP作りを作成業者に任せすぎてしまうためと思われる。百聞は一見にしかず、一つの目的を想定して(無目的で訪問しても長所・短所は見えてこない)、同じ業種のHPを10箇所以上訪問されることをお勧めする。魅力的なHPを作るためにはテクニックも必要だが、基本的には接客姿勢の問題である。ITは苦手とおっしゃる諸氏も、今日からHPの作成・管理に大いに関わって頂きたいものと思う。

## 会議報告等

### 1. 5月18日 第13回通常総会

場所：東京都庁都議会議事堂 6階 第1会議室

時間：16：00～17：00

出席会員：35社(うち委任状10社) 正会員数44社

議題：(1) 平成15年度事業報告承認の件  
(2) 平成15年度収支決算報告承認の件  
会計監査報告  
(3) 平成16年度事業計画変更承認の件  
(4) 平成16年度収支予算変更承認の件  
(3),(4)は本決算により、3月予算総会時の繰  
越剰余金額変更に伴う修正  
全議案とも異議無く承認された。

講演会 15：00～16：00

「土壌汚染調査の最近の動向」

[講師] (株)日さく 地盤環境事業部  
部長 荒井 正 氏

懇親パーティ 17：10～19：10 (於：1階「百兆」)

伊藤公介顧問、森全地連会長、瀬古関東協会理事長  
が出席された。

～第13回総会より～



・ 講演会 講師：荒井 正 氏 ((株)日さく)



・ 総会 大越会長あいさつ



・ 総会風景



・ 懇親パーティ風景



・ 来 賓  
衆議院議員 伊藤公介 氏  
(東京協会・顧問)



・ 来 賓  
全地連 森 研二 会長



・ 来 賓  
関東協会 瀬古一郎 理事長

## 2. 6月22日 理事会・全体委員会

### (1) 会員の退会について

6月30日付けにて会員の地質工学株式会社が退会され、正会員43社・賛助会員10社となった。

### (2) 会員紹介名簿(業務カタログ)の作成について

会員の増強及び協会のPRを目的として、協会業務案内と会員会社の特徴などを掲載する会員紹介名簿(仮称)を、10月末発行を目指して作成することとした。

### (3) 総務副委員長の選任について

佐藤 剛 氏(日本物理探鉱(株)関東支店長)が選任された。

### (4) 技術委員の交替について

〔新任〕高松一郎氏((株)土質基礎コンサルタンツ)

ノート部会担当

〔退任〕木村奈都氏(大和試錐工業(株))

### (5) (社)日本環境測定分析協会とのコンタクトの件

6月29日先方の担当者と打ち合わせ。

### (6) 技術フォーラムの特別講演講師について

独立行政法人産業技術総合研究所 地質情報研究部門主任研究員・理学博士 丸茂克美氏を予定。

今年度は神奈川県地質調査業協会と共催予定である。

### (7) 技術ノートNo.37のテーマについて

「東京湾」と決定された。

### (8) 特別委員会委員等について

副委員長に前川勝男氏((株)セントラルソイル)が就任、委員に田村丈司氏(中央開発(株))を補充した。

#### 特別委員会

委員長	早田守廣氏(大和探査技術(株))	副理事長
副委員長	前川勝男氏((株)セントラルソイル)	前広報副委員長
委員	山口幸雄氏((株)東京ソイルリサーチ)	広報副委員長
委員	横田義男氏(応用地質(株))	広報委員
委員	鈴木明夫氏((株)セントラル技研)	総務委員
委員	赤澤元重氏(川崎地質(株))	総務委員
委員	田村丈司氏(中央開発(株))	

#### 業務カタログ編集委員

委員長	金道繁紀氏((株)地盤試験所)	副会長
副委員長	鳥塚 明氏((株)富士ボーリング)	総務委員長
委員	佐藤 剛氏(日本物理探鉱(株))	総務副委員長
委員	前川勝男氏((株)セントラルソイル)	前広報副委員長
委員	山口幸雄氏((株)東京ソイルリサーチ)	広報副委員長
委員	三原隆一氏(応用地質(株))	総務委員
委員	黒金牧子氏((株)ダイエーコンサルタンツ)	広報委員

## 総務委員会活動報告

これまで4ヶ月の活動を報告いたします。

- ・第1回総務委員会 平成16年4月5日(水)
- ・第2回総務委員会 平成16年4月27日(水)
  - \*「東地協ニュース第3号」編集最終確認
  - \*委員補充の件で2名の新任委員が決定しました。
    - 佐藤 剛 氏(日本物理探鑛(株))
    - 花澤弘兒 氏((株)土質基礎コンサルタンツ)
- ・第3回総務委員会 平成16年6月9日(水)
  - \*4~5月の収支報告 会費納入も順調です。
  - \*空席の副委員長を全会一致で決定する。
    - 副委員長 佐藤 剛 氏
  - \*「東地協ニュース第4号」編集打合せ
  - \*会員補充や協会PR用のパンフレット(業務カタログ)作成についての協議を行ない、理事会に提案する為に概算見積りや内容の資料集めを行なう。
    - なお、6月22日に協会パンフレット作成の件を理事会に提案し承認を受け、7月5日に第1回の小委員会を開催した。
    - 構成メンバー
      - 金道副会長・鳥塚総務委員長・佐藤総務副委員長
      - 三原総務委員・山口広報副委員長・黒金広報委員
      - 前川特別委員会副委員長
    - 以上7名で活動する。
    - また、会員各社のご協力が必要になりますのでよろしくお願い致します。

皆様のご意見等がありましたら是非、総務までお寄せ下さい。

(総務委員長 鳥塚 明)

## 技術委員会活動報告

平成16年度4月~8月現在までの技術委員会活動報告をさせていただきます。

はじめに「ノート部会」の活動について報告いたします。技術ノート37号は、仮題に「東京湾」を掲げて、主に東京湾の地形地質、埋立の歴史や港湾整備の変遷にともなう物流の変化などを取り上げようとしております。取材は、主に東京都港湾局および東京みなと館、東京物流館に焦点をあてて、取材活動を始めております。

「講演部会」のメインイベントである技術フォーラムは、10月29日(金)に品川区「きゅりあん」で開催の予定です。内容は、技術発表シンポジウムと講演の大きく2本立てです。講演会は環境関連の話題を2件を予定しております。興味深く、かつ、役に立つ講演内容になると思われますので是非とも聴講ご参加下さい。

恒例の防災展は、「2004 東京都防災展」(東京都主催)として、今年は8月23日(月)~8月27日(金)の5日間にて新宿駅西口広場において開催いたしました。協会は関東地質調査業協会と共同で災害写真等のパネル、関連機器の展示、講演会、液状化実験等を行い、多数の入場者があり、盛会のうちに終了いたしました。

「環境部会」は、環境事業の各種業界団体とのパイプづくりを行っております。現在、(社)日本環境測定分析協会とコンタクトして、連携の可能性など確認する交渉に入っております。当協会に比べると全国的な大組織ですが、これからの良い関係が作れることと思います。当面は、分析技術に関する技術講習会講演会等の講師招待を要請しております。技術フォーラムでその成果が得られることを期待しております。

私たち技術委員会は、会員皆様のサービス向上に前向きに努力し、かつ、遊び心を絶やさずに活動を楽しんでおりますのでご支援下さい。なお、技術委員を募集しております。会員各社の技術者の方々のご参加を待っております。(^^) よろしくお願ひします。

(技術委員長 大竹 勉)



## 特別委員会活動報告

昨年度に引き続き今年度も特別委員会として活動を継続していくことになりました。今年度は、委員(広報委員兼務)2名の退任があり、後任委員の選任に加えて、2名を増員し、計7名で委員会を構成することにいたしました。

今年度の活動方針としては、昨年度活動の反省を踏まえて、会員サービスをより一層強化し、いかに当協会の魅力をアピールしていくかといことに重点をおいて、総務委員会、広報委員会、技術委員会のご協力も仰いで活動していきたいと思ひます。具体的内容といしましては、

会員企業の紹介名簿(チラシ)の作成、頒布  
(会員企業の広告宣伝の一助としてメリットがあります)

毎年開催しております技術フォーラム開催場所を、都心から都下に移して開催する  
講習会の開催(例えば出前セミナー等)

会員皆様の発案を取り入れた企画

等 であります。また、協会 PR にも積極的に取り組んで新規会員開拓にも力を入れていきたいと思ひます。

いずれにしましても、皆様に愛される協会として発展していくために、より一層の体質改善に努めていくことが肝要であります。会員皆様のご協力、ご支援を切にお願い申し上げます。

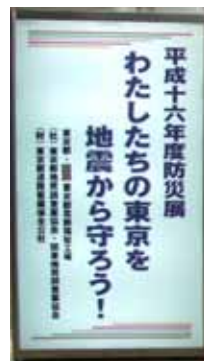
(特別委員会委員長 早田 守廣)



## トピックス(協会行事紹介)

東京都防災展示

「わたしたちの東京を地震から守ろう！」



日時：平成 16 年 8 月 23 日～27 日

場所：新宿駅西口地下広場  
イベントコーナー

主催：東京都

(社)東京都地質調査業協会

関東地質調査業協会

東京都葛飾福祉工場

東京都道路整備保全公社

内容(協会担当分)：パネル展示・機器の展示

「エッキーの素」実演(納口先生)

講演(若松先生) 等

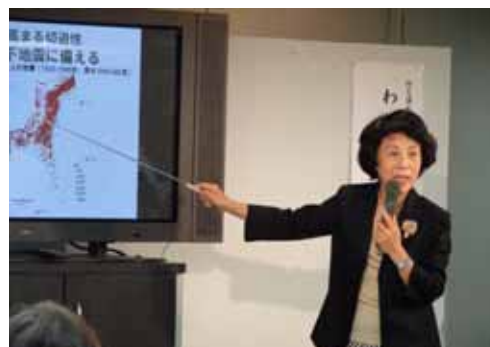


・パネル展示



・液状化実験  
「エッキーの素」  
実演

防災科学技術研究所  
納口恭明先生



・講演  
「わが家の危機管理」

若松加寿江先生  
(協会理事)

## 「東京都2004技術フォーラム」のご案内

日時：平成 16 年 10 月 29 日(金)9:30～  
 会場：きゅりあん イベントホール  
 内容：技術発表12編・特別講演2編  
 懇親パーティ

## &lt; 特別講演 &gt;

- 1) 財団法人 化学物質評価研究機構 東京事業所  
 環境技術部技術第一課長 本橋 勝紀 氏  
 「土壌汚染調査における分析の実際」
- 2) 独立行政法人 産業技術総合研究所  
 地質情報研究部門  
 主任研究員 丸茂 克美 氏  
 「自然由来の重金属土壌汚染の現状と調査  
 法・対策法」

会員の皆様には、9 月末に本フォーラムの開  
 催案内をお送り致します。技術者の方々の多  
 数のご参加をお待ちしております。

## 行事日程

日程	行事名・内容等
9月7日(火)	<b>理事会・全体委員会・特別委員会</b> 場所：協会会議室
10月4日(月)	<b>土壌汚染状況講習会 (環境省主催)</b> 場所：シェーンバッハ・サボー
10月29日(金)	<b>東京都2004技術フォーラム</b> 場所：きゅりあん
12月 7日(火)	<b>地質調査技士登録更新講習会 (関東協会)</b> 場所：シェーンバッハ・サボー
1月14日(金)	<b>土壌汚染状況講習会 (環境省主催)</b> 場所：シェーンバッハ・サボー

## 会員(正会員・賛助会員)動静

- (1) 会員の退会(平成16年6月30日)  
 地質工学株式会社

## ・ 編集後記 ・

アテネオリンピックも閉会し、寝不足からも解放されそうです。

五輪といえば「オリンピック大会で重要なことは、勝つことではなく、参加することである。人生において重要なことは、成功することではなく、努力することである。根本的なことは、征服したかどうかにあるのではなく、よくたたかったかどうかにある。このような教えをひろめることによって、一層強固な、一層はげしい、しかもより慎重にしてより寛大な人間性をつくりあげることができる。」クーベルタンの有名な言葉が思い出されます。

会員の皆様の協会活動へのご参加を心よりお待ちしております。(4年に1度でなく何時でも)

## 東地協ニュース 2004.初秋 第4号

発行・編集 (社)東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<http://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail [info@tokyo-geo.or.jp](mailto:info@tokyo-geo.or.jp)

